

# 食育で人をつなげる!

## 「芽」から始める「すみとかプロジェクト」スタート



昼食に食べた「芽ちゃんご鍋」。芽室町<sup>めじろ</sup>の食材とすみだのちゃんご鍋のコラボで新しい食文化の“芽”が誕生した

2020年2月17日と18日、goodネットのメンバー12名が北海道十勝地域の芽室町<sup>めじろ</sup>を訪問。芽室町の生産者、行政関係者13名と「食育で!ワークショップ」を行いました。まず、両地域の参加者がそれぞれの地域のよさを出し合いました。次に食育で実現したい夢を語り合い、地域をこえたコラボレーションから新たな取組アイデアが誕生しました。

ワークショップの目的は、“食育で人と人がつながる”こと。この取組の背景にあるのは2014年から始まった「特別区全国連携プロジェクト」です。

プロジェクトが目指すのは、特別区(東京23区)と全国の各地域が連携して関係人口や交流人口を増やし、双方のまちを元気にする。その1つとして十勝18町村と墨田区・台東区との連携が決定。食育で人がつながることを原点に先進的な食育を推進してきた墨田区では、“「芽」から始める「すみとかプロジェクト」”をスタートさせました。ワークショップでは熱い想いが語られ、様々なアイデアが生まれました。両地域の参加者はこの日初公開の「芽ちゃんご鍋」を囲み、交流を深めました。



### なぜ、芽室町<sup>めじろ</sup>からプロジェクトをスタートさせたのか?

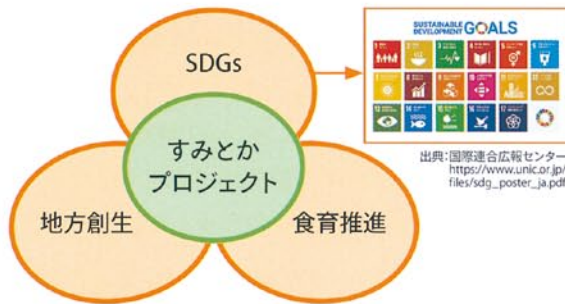
墨田区にあるかめばんの佐伯信郎氏(goodネットメンバー)は、小麦の仕入で10年ほど前から芽室町の小麦生産者島部農場の島部亨氏との交流がありま

した。また、芽室町の「芽」とgoodネットの情報紙『食育の芽』は「芽」という文字が共通しています。そこで、十勝18町村の中で芽室町との交流から始めよ

うということで“芽”から始める「すみとかプロジェクト」という名称になりました。ちなみに「すみとか」は「すみだ」と「とかち」を合わせた言葉です。

# お互いの夢をアイデアに変える「食育で！ワークショップ」

## 「芽」から始める「すみとかプロジェクト」 その全体像とは？



目標は「食育推進」「地方創生」「SDGs」に共通する  
パートナーシップを育てること。パートナーシップ  
は、全ての取組のベースになっています。

## ①開会の挨拶



手島 旭氏  
芽室町長

めじろ  
芽室町は、墨田区・台東区さんとお  
互いの顔が見える交流を広げ、町全  
体に波及していきたいと考えていま  
す。今回はそのスタートとして、交流  
を進めていただきたいと思います。



山本 亨氏  
墨田区長

和菓子やちゃんこ料理など、すみだ  
が持つ資源と、芽室町をはじめとし  
た十勝地域がもつ資源をかけ合わ  
せることで、新たな連携や交流が生  
まれることを期待しています。

(山本区長の挨拶：ビデオメッセージより)

## ②お互いの地域を知る



取組の動画や写真な  
どを用いてお互いの  
活動を紹介

芽室町の特徴や(株)  
なまら十勝野の食育  
活動のあゆみを紹介

10年間のgoodネット  
の食育活動を、朗読  
を交えて紹介



## ③一緒に食卓を囲み関係を深める



昼食に食べた「芽ちゃんこ  
鍋」。芽室町の食材とすみ  
だのちゃんこ鍋をコラボし  
たオリジナル料理



## ④両地域の自慢を重ね、アイデアをつくる

芽室とすみだ、両地域のよいところを出し合  
った後、食育で実現したい夢を語り合い、新  
たな取組アイデアを生み出します。



## ⑤パートナーシップをパフォーマンスで表現

取組アイデアを実現する時に欠かせないパー  
トナーシップ。パフォーマンスを表現する取  
組を通して、自然とチームが育っていきます。



# ワークショップで生まれたアイデアとは？

グループ毎のアイデアの発表は、寸劇やラップなどの工夫が加えられていました。発表終了後、実現したいと思うアイデアに投票。その後、表彰を行いました。最後に芽室町長の手島旭氏と、すみだ食育good ネット顧問で十文字学園女子大学名誉教授 長澤伸江氏から講評がありました。

## 鳥獣被害から生産現場を守る

鳥獣被害を防ぐため、ジビエ料理を域外で流通させる、革製品化する、ハンターを育成するなど。



「イケメン」チーム

## 「食と職のうらツアー」

家族単位で芽室町の生産者とすみだの職人が交流、お互いの理解を深めながら芽室町にお嫁さんを！



「め」チーム

## 自転車で巡るヘルシー修学旅行

「世代を越えて自転車で巡る修学旅行」として、十勝とすみだのそれぞれを巡るツアー。



「めむろっこ」チーム

## 芽ちゃんこもんじゃ

芽室食材×すみだの「もんじゃ」や「ちゃんこ鍋」で食文化の交流を！墨田で提供、芽室町のイベントに参加。



「なまらもんじゃ」チーム

## 婚活ツアー

国内最速の「婚活ツアー」として、2021年2月に芽室町とすみだで行うイベントのプランを提案。



「塘蒿(せろり)部屋」チーム

## 芽室とすみだが家族になる日が楽しみ！



島部 亨さん  
島部農場

すみだの食育って、食を介して人と人のつながりを育むことなんですね。今回のワークショップは、家族のような感じでした。これをきっかけに、いつか芽室とすみだが家族のようなつきあいができたらいいですね。それを見届けられるように、長生きしたいと思います。

## 芽室の子どもたちも、すみだに触れてほしい



西村 有里さん  
町民活動支援センター

「東京は怖い場所」というイメージがありました。でも、すみだの人たちは温かくて、芽室の人たちと似ているんです。生産者が多い芽室、すみだは職人さんが多いものづくりのまち。大人同士の交流だけでなく、芽室の子どもたちにもすみだの文化に触れてほしいです。

## 「芽」から始める「すみとかプロジェクト」への想い



齋藤 賢司氏  
特別区長会  
事務局 副参事

多くの方の出会いや、つながりをつくることを目指すこのプロジェクトが、よりよい形に育っていくよう、サポートしていきたいと思います。



郡司 剛英氏  
墨田区企画経営  
室 参事

顔が見える関係づくりから始めることで、芽が出て、花が咲いて大きな実を収穫できるよう、官民一体となって取り組んでいきます。



手島 旭氏  
芽室町長

今回のワークショップは、交流の第一歩として、よい機会になったと思います。これをスタートにして、どんどん交流を広げていきたいと考えています。

# めむろ 芽室とすみだが協働で育んだ ワークショップまでの歩み

## Step1 十勝地域視察

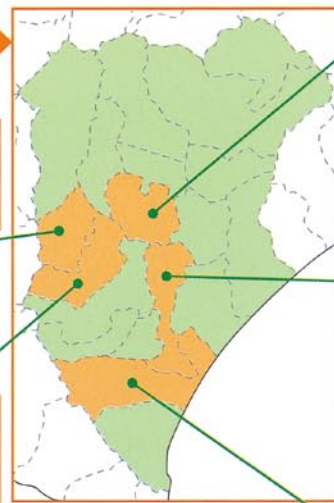
2019年11月6日～7日



芽室町の島部亨さん(左)と墨田区の佐伯信郎さん



十勝地域で食育によるワークショップを行うため、まず、現地の視察を行いました。視察する場所のコーディネータは、十勝うらほろ楽舎の近江正隆さんにお願ひしました。訪問したのはめむろすみず町、音更町、大樹町、幕別町の生産者。実際に畑や牧場を見学して、お話を聞かせてもらいました。



近江 正隆さん  
十勝うらほろ楽舎



橋本 晃明さん  
十勝アルプス牧場

音更町



中橋 晴樹さん  
中橋農場



竹中 章さん  
たけなかつาร์ม

幕別町



岩谷 史人さん  
いふあーむ



大樹町



大石 富一さん  
(有)大石農産



伊藤 英拓さん  
アグリシステム(株)



高道 豊さん  
高道農場



島部 亨さん  
島部農場

## 芽室町役場の訪問で、芽室とすみだのコラボが決定



芽室町役場を訪問しました。goodネットメンバーから、「特別区全国連携プロジェクト」のプレにあたる今年度は、まず、芽室町と一緒にワークショップを行いたいと説明。芽室町役場の西田昌樹氏の「面白そうですね」という言葉をきっかけに、両者の想いがふくらみました。最終的に、芽室町とすみだ協働する方向で検討を進めることになりました。



生産者の竹内敬太さんも打ち合わせに参加



手島芽室町長(中央右)、山本墨田区長のかかし(中央)と一緒に記念撮影

## 食育で交流を深めるという考えに共感した

芽室町役場企画財政課  
課長補佐 西田 昌樹さん

goodネットさんが目指すのは、食育で交流を深めることだとわかりました。新たな関係が生まれれば、次の展開につながるはず。前向きに検討することを決めました。



1月31日

## トークライブ



芽室町の生産者竹内敬太さん(左)と高道豊さんが食育の取組を紹介した



1月31日から2月1日まで、<sup>めむろ</sup>芽室町のメンバーが視察のためにすみだを訪問することが決定。これをお互いの地域を知る機会にするため、1月31日にトークライブを開催しました。当日は「特別区全国連携プロジェクト」の事務局である特別区長会事務局副参事 齋藤賢司氏も参加しました。



goodネットのメンバーが活動を紹介



トークライブには、墨田区企画経営室参事 郡司剛英氏も参加



トークライブ終了後の懇親会。会場は東京食材の居酒屋「押上よしかつ」(墨田区)

2月1日

## すみだ青空市ヤッチャバ視察



トークライブの翌日、芽室町のメンバーはすみだ青空市ヤッチャバを視察。出店する生産者や、すみだで様々な活動をする人たちから話を聞きました。



ヤッチャバ視察後、ワークショップについて打ち合わせ。特に、ワークショップの成果を左右するグループ分けについて意見を交換しました。

## トークライブとヤッチャバ視察の成果



竹内 敬太さん  
たけうち農場

goodネットさんは、多くの方や企業とも連携して活動しているから、地域にとって欠かせない存在になっているんですね。自分たちの食育活動も、継続のためには連携を広げていくことが大切だとわかりました。



高道 豊さん  
高道農場

東京には何度か訪問して、無機質で冷たい街だと思っていました。でも、すみだで2日間過ごして人情がある温かい街だなと。助け合う、お互いに褒め合うことが自然にされていて、東京のイメージが一変しました。



川上 徹さん  
(有)めむろプランニング

2日間楽しかったです。それは、このプロジェクトが芽室町とすみだの人の役に立つし、貢献できるはずだと感じられるからだと思います。地元への愛や貢献したい思いを、お互い高め合える機会にしたいです。

## 同じ想いの仲間と出会うことができた!

芽室町のみなさんから、食育にかける熱い想いを感じました。同じ温度感で協働できる仲間との奇跡的な出会いを、大切にしたいと思います。



青島 節子さん  
すみだ食育goodネット  
副理事長

# Step3 「食育で！ワークショップ」の舞台裏

2020年2月17日～18日 in 芽室町



ワークショップの前日にあたる2月17日、goodネットのメンバーは芽室町に入り準備を行いました。ワークショップ当日は朝から「おもてなしコーヒー」の準備と「芽ちゃんこ鍋」の調理が始まりました。



「おもてなしコーヒー」を淹れる芽室町役場の西田さん



芽室町の農産物をグループの名前にしたボール



参加者用のパッチ。新たな交流の芽が生まれることを願ってgoodネットが手作りの



芽室町とすみだの銘菓。取組アイデアを考えるヒントとして用意された

## 芽室とすみだの交流を深めた「芽ちゃんこ鍋」



「芽ちゃんこ鍋」を調理してくれたJAめむろ女性部のメンバー



食材は芽室産。じゃがいも、ごぼう、しいたけ、たまねぎ、にんじん、豚肉など



ワークショップの開始と同時に、昼食用の温かい鍋の調理が始まった

## ワークショップで得られたこと、今後にかける想い



西田 昌樹さん  
芽室町役場企画財政課  
課長補佐

参加した芽室町のメンバーから、「すみだに行きたくなった」と聞きました。これまでは、東京に行くなら渋谷や銀座だったのにね。ある参加者の方は、「息子の修学旅行はすみだに行かせたい」と。理由を聞くと「親戚のおばちゃんができる感じ。ぜひ息子を預けたい」と言うんです。心がつながって、また会いたくなる。そういう関係ができたことが一番の成果だと思います。細い糸が合わさって、だんだん太くなっていく。そんな交流を、これからも進めていきたいですね。



宮澤 敬昌さん  
墨田区企画経営室 主査

10年ほど前、十勝の小麦を見て感動して、みんなに見せたい思いが今につながった気がします。これからも両地域の交流のためにお役に立ちたいと思います。

みなさんの熱い想いを感じて背中を押される気がします。これをきっかけに、さらにプロジェクトが進むよう、行政としてサポートしていきたいと思います。



佐伯 信郎さん  
すみだ食育goodネット  
副理事長